

A4 サイズ: 1ページ

令和5年2月13日

報道関係 各位

名古屋市立大学病院統括部 主幹 住田 武士(電話:052-853-8545) 名古屋市健康福祉局生活福祉部 主幹 黒坂 貴光 名古屋市総務局市立大学部市立大学室

室長 田中 雅隆







(名古屋教育医療記者会・名古屋市政記者クラブと同時発表)

## 名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院の ロゴマークの採用について

名古屋市厚生院附属病院は、令和5年4月に名古屋市立大学医学部の附属病院として、「**名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院**」に生まれ変わります。そこで、このことを広く周知し、これまで以上に地域の皆様に親しまれる病院としていくために、「名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院のロゴマーク」の公募を実施しました。厚生院大学病院化準備委員会病院準備部会による審査の結果、採用作品を下記のとおり決定いたしましたので、周知くださいますようお願いいたします。

記

## 1 採用作品



## ~ 製作者の意図 ~

「みらい」の「M」とも「光生」の「K」とも連想でき、かつ百寿社会に資する先端研究を行う優れた医療人を育成…と言う理念を重要視しヒューマンライクなデザインとしました。

また、全体のイメージとして、光り輝く太陽や広がる未来を、様々な世代の人達に感じてもらえることをテーマに考案いたしました。

## 2 製作者

鈴木 博喜 さん (名古屋市港区在住)